

からきだ菖蒲館

Handpan & Riq

ハンドパンとアラブタンバリンの

エキゾチックな演奏の世界

Concert



奥村将和



大石竜輔

6月1日(土)

開 場:17時30分

開 演:18時(終演19時30分)

場 所:からきだ菖蒲館1階ロビー

入場料:500円

主催:文化部会 042-338-6333



※前売りチケットは60席のみです。4/23(火)午前10時より受付を開始いたします。お早くお買い求めください。当日チケットは17時より1階コンサート受付にて、先着20席のみ販売しますが売り切れも予想されます。



奥村将和(ハンドパン・ドラムス)

ドラム、ハンドパン、フレイムドラム等、様々なパーカッションを演奏させてもらってます。自身のドラム・パーカッションソロライブをはじめ、泉沢果那ニューオリンズピアノバンド、名古屋フィルハーモニー交響楽団首席オーボエ奏者山本直人率いるやまなおバンド、大石竜輔とのパーカッションデュオ等、ジャンルを超え、精力的に演奏活動中。

◆ハンドパン

2000年頃、スイスのスチールパン工房であったPANARTが、スチールパンから発展させた楽器ハングドラムを模倣した楽器。

大石竜輔(アラブタンバリン)

アラブタンバリン(レク)奏者。シャンシャンズのポコドンシャン。様々な打楽器の技術をレクに応用し、独自のスタイルを確立。自身のスタイルが認められ、2017年9月にシンガポールにてレクのワークショップを行う。南郷サマージャズフェスティバル2018出演。大秋山会2018出演。アースセレブレーション2019出演予定。

◆レク(アラブタンバリン)

非常に様々な奏法があり、1つのタンバリンから鳴っているとは思えないような多彩な音を出します。歴史は非常に古く、タンバリンの祖先であるとされており、五箇所についたジングルは五芒星(ごぼうせい)を表し、呪術にも使われていたといひます。

